

学園だより

温故
創新

義務教育学校 八女市立

上陽北湊学園

JOYO-HOKUZEI compulsory education school

第7号 令和元年9月13日発行

文責 校長 牛島 俊哉

1年生から9年生まで、思いやりの心をもって、
仲良く協力し合える学校にしたいです

下の写真は、昼休みに、9年生が2年生の教室にきて勉強を教えているところです。
9年生が取り組んでくれました。9年生のお兄さん、お姉さんに教えてもらい、2年生はうれしそうにがんばっていました。



↑ お姉さんにやさしく教えてもらっています。



↑ 忙しい中、たくさんの9年生が来てくれました。

学校のみんが思いやりの気持ちをもち仲が良いことは、とても大切なことです。学力が高まることも日常の生活態度がよくなることも、相手のことを考えて助け合えることが基盤にあると思います。ただ、現在子どもたち一人一人に、そのような心が十分育っているかと言われれば、まだ不十分なところもあるだろうととらえています。

本年度は、「リスペクト」という言葉を合い言葉にして教育活動を進めています。早いもので、もう令和元年度前期の学期末になりました。子どもたちに、自分も相手も大切にできる心が育っているか、学校でも家庭でもふりかえてみたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。

→
1年生と9年生のふれあい給食です。



←
1年生と9年生が一緒に食べています。とてもほほえましい様子です。

平和集会をしました



↑ 平和集会の様子 生徒会、児童生徒会が中心となって進めました。

8月6日の出校日に、平和集会を行うはずだったのですが、台風のため休校になり実施できませんでした。そこであらためて、9月5日(木)に集会を行いました。

生徒会・児童生徒会のみなさんが、戦争のおそろしさや平和の大切さについて調べたことを発表しました。戦争時の沖縄、長崎、広島のことについて、パワーポイントを使いながら発表し、全校の子どもたちは真剣に聞いていました。

校長の話の中で、広島で行われた平和記念式典での小学生による「平和の誓い」の一部をとりあげました。以下が、その内容です。

『「ありがとう。」や「ごめんね。」の言葉で認め合い許し合うこと、
寄り添い、助け合うこと、
相手を知り、違いを理解しようと努力すること。

自分の周りを平和にすることは、私たち子どもにもできることです。』

自分と周りの人たちのために、小さなことからでも自ら働きかけることのできる人になってほしいなと思います。

本年度の全国学力・学習状況調査結果についてお知らせします

6年生の国語・算数、9年生の国語・数学・英語の調査結果についてです。

6年生は、国語において全国平均を上回りましたが、算数では全国平均に及びませんでした。9年生は、国語と数学について全国平均を上回りましたが、英語は全国平均に及びませんでした。両学年とも、筋道を立てて自分の考えを書くことに課題が見られました。今後、書く力の育成に重点をおいて、授業の改善や子どもたちへの指導を進めていきます。